



地域の皆様が心地よく利用できる 公共公園環境の整備について

駒見 行彦 (令和研究会)

問 除草の頻度を多くする考えは。

答 水城公園は昨年8回を今年は10回程度に。中央児童公園は昨年3回を4回程度。わくだま公園は昨年2回を5回程度の実施に向け見直しをしたところである。

問 公園の受動喫煙対策について。

答 より意識を啓発できる看板の設置やパトロールの実施の対応強化に努めたい。

問 ペットの糞や地域猫の餌やりについて。

答 水城公園や総合公園、古代蓮の里、中央児童公園等で公園利用者や公園近くの住人から餌やりに対する相談があり、案内板を設置し注意喚起を図っている。

問 市内公園の中に向けた防犯カメラの設置について。

答 古代蓮の里、総合公園には防犯カメラが設置されているが、水城公園には現在設置されていない。利用者の安心安全、施設のいたずら防止等の観点から設置に向けて検討していく。



野本 翔平 (令和研究会)

公共交通の子ども無償化



問 地元の高校生から、行田には遊ぶ場所がないので熊谷や羽生へ行くのだけれど交通費が地味に高い、もし電車やバスなどの公共交通が無料になったら、もっと友達と遊びに行けるし、行田市のことが今よりも好きになるかもしれない、という提案をもらった。市長はどう思うか。

答 まず今回の提案をとっても新鮮に感じた。若い人たちが日々どんな考えで過ごしているのか気付かせてくれた。確かに高齢者や子育て世代への支援が拡充されてきている一方で、中高生にとっては自分たちへの支援が少ないと感じるかもしれない。

若者たちと意見を交わす機会を増やし、若者たちの声に真摯に向き合って、その思いにしっかりと応えていきたい。



「仮称」利根川新橋について

梁瀬 里司 (令和研究会)

問 現在、熊谷市と群馬県千代田町との利根川に新しい橋の建設計画が進められている。この新橋が完成すると、本市にとっても利根大堰の渋滞緩和や群馬県へのアクセスが容易になり、経済効果も期待できるが、市はこの新橋の価値をどのように捉えているか。

答 新橋が建設されることにより、埼玉県北部地域と群馬、栃木県とを結ぶ新たな広域幹線道路網の確立に伴う本市へのアクセスが向上され、北関東エリアとの交流連携の強化や企業誘致の促進、流通の拡大など、様々な整備効果が期待できるものと認識している。

問 新橋整備に伴い企業誘致など、施策は考えているか。

答 北関東エリアとのつながりが強くなる等のメリットを生かして企業誘致活動に努めていく。

〔その他の主な質問〕

- 空き家対策
- 道の駅くるん熊谷との協議
- 公民館施設利用の時間貸し
- 小・中学校体育館へのエアコンの設置